

全教師で踏み出す 「カリキュラム・ マネジメント」 実現の第一歩

「アクティブ・ラーニング」と並び、次期学習指導要領の大きな柱となる「カリキュラム・マネジメント」の実現のために、学校によっては、カリキュラムを核とした学校全体の構造や教育活動全体の見直し求められるだろう。もちろん、それを一気に押し進めるのは、決して簡単なことではない。そこで、今号は、今後求められる「カリキュラム・マネジメント」について整理した上で、その実現に向けた第一歩として、学校は、そして教師は、何をすべきなのかを考えていく。

Q. 2016年2月号・特集「有機的に結び付けるこれからの教育活動」についてのご意見・ご感想をお聞かせください。

◎「カリキュラム・マネジメント」を行おうとすると、教育活動のすべてを構築し直すことになる。インフラ整備や予算、人材配置も考えなくてはならず、各論でも、例えば、教科等間の内容事項の相互関連づけでは、それだけでも相当の時間と段取りが必要だ。何から手をつけるのかを見定めないと、部分最適で終わる恐れがある。 (埼玉県)

◎現状では、各行事が単独でのPDCAサイクル（前例踏襲のまま、PDの繰り返しかもしれない）であり、高校から社会に移行する中で、生徒にどのような資質・能力をつけるのが軽視されていると思う。今回の三位一体の改革がなされる中で、生徒の未来を保証するために、生徒につけたい力を教師間で共有し、「カリキュラム・マネジメント」を確立させることが、喫緊の課題だとよく理解できた。 (大阪府)

◎教育改革を实践する学校としての特徴が鮮明となる特集だった。その特徴とは、第一に目指す生徒像と、それを実現するために必要とする資質・能力といった、学校独自の目標（＝スクール・アイデンティティ）を明確に持つ学校である。次に、そうした目標に向けた学校単位でのコンセンサスの存在である。 (愛知県)

◎「カリキュラム・マネジメント」が確立していなければ、場あたりの学校経営となる。まず、学校の課題を組織全体で共有することが大切だ。その上で教育目標を明確に設定し、その実現に向けてPDCAサイクルを回し続けることが重要だ。実践事例では、各学校とも育みたい力を明確化していた。「どんな生徒を育てたいか」の共通理解を、教師間でどこまで深めるかがポイントだと感じた。 (沖縄県)

出典／『VIEW21』高校版読者モニターへのアンケート結果より。アンケートは、2016年2月にウェブとファクスで実施。

本号のテーマ

今後求められる「カリキュラム・マネジメント」と、その実現の第一歩として何をすべきかを考える

今後求められる「カリキュラム・マネジメント」とは？

インタビュー【P.4~7】



岐阜大学
大学院教育学研究科
准教授
田村知子

- ◎カリキュラム・マネジメントは、カリキュラムを主たる手段として、学校の教育目標をよりよく達成しようとする営み。具体的には、教育目標達成のために計画されたカリキュラムを適切に実施し、生徒が何を学び、何を学ばなかったのかを評価して改善につなげる、効果的・効率的な教育活動を実現する考え方や具体的な方法を校内で検討していく活動。
- ◎カリキュラム・マネジメントを行う上で配慮すべき要素は、教育目標、カリキュラムを評価・改善するPDCAサイクル、それらを支える学校内の組織構造・文化、学校外の要素としての家庭や地域、教育課程行政など。
- ◎管理職や現場のリーダーによる導きの下、まずはカリキュラムを題材に目指す生徒像を関連に語り合い、既にできていることを認め、お互いを励まし合うような場をつくることで、学校をチーム化させることが重要。

実現の第一歩としてすべきは、課題と成果を踏まえた教育目標の明確化と共有を学校全体で行うこと

校長、現場のリーダー、それぞれが果たすべき役割とは？

校長

校長座談会
【P.8~12】



北海道
清水高校
校長
西嶋潤一



東京都・私立
鷗友学園女子中学高校
校長
吉野 明



神奈川県立
湘南高校
校長
稲垣一郎

- ◎校長には、国の教育政策の動きや自校の現状、学校に対する地域のニーズなどを把握し、それらを踏まえて、学校として進むべき大きな方向性を教師に示すことが求められる。
- ◎校長は、教師が意見やアイデアを出しやすい雰囲気をつくるとともに、よい意見・アイデアについて「それ、いいね。やろうよ」と後押しをする。そうすることで、学校全体に活気が生まれる。

現場のリーダー

現場リーダー
座談会
【P.12~15】



北海道
札幌平岸高校
進路指導部長
高松洋司



東京都・私立
三田国際学園中学校・高校
学習指導部長
田中 潤



大阪府立
西野田工科高校
1学年主任
寺岡俊介

- ◎現場のリーダーには、組織の中の人間関係のバランスを考慮しながら、個々の教師の能力や意欲を効果的に引き出すことが求められる。
- ◎トップが示したビジョンを現場のリーダーが自分の言葉に翻訳して、メンバーの教師に伝える役割を担うことが求められる。

実践事例1

北海道北広島西高校 【P.16~19】

生徒の実態把握から教育目標を設定し、「学び直し」を教育課程に位置づける

実践事例2

大阪府・私立高槻中学校・高校 【P.20~23】

共学化を機に基本理念を策定し、教育活動を改善し続ける